

日本マイコトキシン学会第 92 回学術講演会プログラム

日時：2025 年 1 月 10 日（金） 10:00–17:15

会場：東洋大学川越キャンパス（〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100）

4号館 2F 421 教室：一般講演、総会・授賞講演、ランチョンセミナー

1F 入試インフォ：ポスターセッション及び付設展示同時開催

8号館 8104 教室：幹事会

9:30– 受付開始 4号館 2F 421 教室前

10:00–10:05 開会の挨拶 応用化学科 片野諭学科長

10:05–10:53 一般講演（O-01～O-04）（下線は学生会員の発表者）

座長：中嶋佑一（東洋大・工技研）

青山幸二（FAMIC・肥飼料）

O-01 (10:05–10:17)

ヤンバルクイナから分離された *Aspergillus pseudonomiae* 2 菌株のアフラトキシン産生能に関する解析

○豊留孝仁^{1,2,3}、中谷裕美子⁴、高橋弘喜³、矢口貴志³、長嶺隆⁴（¹帯畜大・獣医、²帯畜大・動食検診セ、³千葉大・真菌セ、⁴どうぶつたちの病院沖縄）

O-02 (10:17–10:29)

DESI-質量分析イメージングによる赤かび病菌感染麦子実中の DON の可視化：

Q-TOF 型と QQQ 型質量分析装置の比較

○唐住真衣¹、井上博喜²、吉田めぐみ³、中川博之⁴、古川智宏⁵、久城真代⁵、宮坂篤^{2,6}、榎元廣文^{1,7}（¹徳島大・生物資源産業、²農研機構・九沖研、³農研機構・農情研、⁴農研機構・分析研、⁵農研機構・食品研、⁶（現所属）東北農林専門職大、⁷徳島大院・社会産業理工）

O-03 (10:29–10:41)

Aspergillus nidulans と *A. flavus* における *aflR* 遺伝子および *aflS* 遺伝子の機能相補性解析

○野中瞭¹、東村碧星¹、清水公徳^{1,2}（¹東理大・生シ工、²千葉大・真菌セ）

O-04 (10:41–10:53)

Aspergillus nidulans におけるステリグマトシスチンとテレキノン A 生合成の競合関係の解明

○富岡麟太郎¹、Nguyen Ngoc Hung^{1,2}、Nguyen Phuong Thao¹、清水公德^{1,3}
(¹東理大・生シ工、²東大・新領域、³千葉大・真菌セ)

10:53–11:15 休憩

11:15–12:03 一般講演 (O-05～O-08)

座長：古川智宏 (農研機構・食品研)
久城真代 (農研機構・食品研)

O-05 (11:15–11:27)

トリコテセン生合成における培地の初期 C/N 比の影響

○磯間蓮¹、里見蒼大¹、佐野広空²、小泉慶明²、中嶋佑一³、木村真³、安藤直子^{1,2} (東洋大・理工、²東洋大院・理工、³名大院・生命農)

O-06 (11:27–11:39)

トリコテセン生合成遺伝子高発現株の *Tri3* 遺伝子破壊株が生産する未知代謝物の解析

○佐野広空¹、小泉慶明¹、磯間蓮²、里見蒼大²、中嶋佑一³、木村真³、安藤直子^{1,2} (東洋大院・理工、²東洋大・理工、³名大院・生命農)

O-07 (11:39–11:51)

Aspergillus nidulans におけるステリグマトシスチンクラスター遺伝子 *afIS* の機能解析

○東村碧星¹、Nguyen Ngoc Hung^{1,2}、Nguyen Phuong Thao¹、清水公德^{1,3}
(¹東理大・生シ工、²東大・新領域、³千葉大・真菌セ)

O-08 (11:51–12:03)

Fusarium graminearum の新しいトリコテセンケモタイプの作出とその分子機構の検証

○笠原えな、前田一行、曾根原未尋、中嶋佑一、木村真 (名大院・生命農)

12:03–13:10 昼食・ランチョンセミナー

会場：4号館 2F 421 教室 (一般講演会場と同じ会場)

L-1 アジレント・テクノロジー株式会社

L-2 株式会社プラクティカル

13:10-13:40 総会

13:40-13:45 授賞式

13:45-14:30 特別講演（40分講演+5分質疑応答）

座長：安藤直子（東洋大・理工）

「作用機構研究からみた農業用殺菌剤の開発動向と最近の話題」

藤村真（東洋大）

14:30-14:40 休憩

14:40-15:40 ポスターセッション（P-01～P-10）（下線は学生会員の発表者）

会場：1F 入試インフォ 付設展示同時開催

P-01 YES-DC-CP 培地表面観察による酸性土壌からの *Aspergillus section Flavi* 菌種の分離

金刺佑平^{1,2}、山上陽平^{1,3}、古川智宏¹、塚田祐子¹、廣野祐平⁴、荻野暁子⁴、矢部希見子⁵、○久城真代¹（¹農研機構・食品研、²農研機構・作物研、³FAMIC・肥飼料、⁴農研機構・果茶研、⁵福井工大・環食応化）

P-02 赤かび病かび毒汚染オオムギ試料中から選定した不透過粒のかび毒含量調査事例

○吉田めぐみ^{1,2}、中川博之³、井上博喜⁴、ハバラガムワ ハルシャナ¹、藤岡宏樹¹、宮坂篤^{4,5}（¹農研機構・農情研、²農研機構・植防研、³農研機構・分析研、⁴農研機構・九沖研、⁵（現所属）東北農林専門職大）

P-03 クロリムロンエチル耐性マーカー遺伝子 *sur* による昆虫病原菌の形質転換系の確立

○柳田竜治¹、石井友海¹、Nguyen Phuong Thao¹、Nguyen Ngoc Hung^{1,2}、清水公徳^{1,3}（¹東理大・生シ工、²東京大・新領域、³千葉大・真菌セ）

P-04 *Myrothecium verrucaria* の糖抱合活性を利用したトリコテセン C-3 位配糖体の取得検証

○佐藤友哉¹、栗田一輝¹、磯間蓮²、若尾蒼大¹、小泉慶明¹、坂部将仁²、佐藤総一^{1,2}、木村真³、安藤直子^{1,2} (1東洋大院・理工、2東洋大・理工、3名大院・生命農)

P-05 *Aspergillus nidulans* を用いた LV クラスター転写因子 LovE の機能解明
○堀野菜央¹、秋山朔太郎¹、Nguyen Phuong Thao¹、Keller NP²、清水公德^{1,3}
(1東理大・生シ工、2ウイスコンシン大、3千葉大・真菌セ)

P-06 A型トリコテセン生産菌の C-7 位水酸化トリコテセン中間体に対する代謝活性
○小泉慶明¹、栗田一輝¹、磯間蓮²、中嶋佑一³、木村真³、安藤直子^{1,2} (1東洋大院・理工、2東洋大・理工、3名大院・生命農)

P-07 リアルタイム PCR による *Fusarium* 属真菌の定量法の検討
○山上陽平^{1,2}、金刺佑平³、中川博之⁴、久城真代¹、古川智宏¹ (1農研機構・食品研、2FAMIC・肥飼料、3農研機構・作物研、4農研機構・分析研)

P-08 トリコテセン生産菌の糖抱合遺伝子破壊株における代替第Ⅱ相反応の解明
○篠崎康一郎¹、磯間蓮²、佐野広空¹、小泉慶明¹、佐藤総一^{1,2}、坂部将仁²、木村真³、安藤直子^{1,2} (1東洋大院・理工、2東洋大・理工、3名大院・生命農)

P-09 B型トリコテセンを用いた抗体医薬作製の試み
○里見蒼大¹、佐野広空²、小泉慶明²、磯間蓮¹、岩澤卓弥³、加藤和則⁴、安藤直子^{1,2} (1東洋大・理工、2東洋大院・理工、3東洋大・ライフイノベ研、4東洋大・健康スポ科)

P-10 鳥取・鹿児島・宮崎の土壌からのアフラトキシン生産菌の単離と同定
○櫻井征一郎¹、田中稜¹、阪口真央¹、山下浩平¹、久城真代²、矢部希見子¹
(1福井工大・環食応化、2農研機構・食品研)

15:40-15:50 休憩

15:50-17:00 シンポジウム「食と微生物研究の新しい展開」

座長：須賀晴久（岐大・iGCORE）

渡辺麻衣子（国衛研・衛生微部）

S-01 (15:50-16:20) 伝統的発酵食品「なれずし」の発酵科学

中川智行（岐大・応生）

S-02 (16:20－16:50) 蔵付きバクテリア：見過ごされてきた日本酒造りにおける脇役
西田洋巳（東洋大・食環）

16:50－17:00 シンポジウム総合討論

17:00－17:05 ベストプレゼンテーション賞の発表・授賞式

17:05－17:10 次回学術講演会世話人挨拶
第 93 回学術講演会世話人 榎元廣文（徳島大・生物資源産業）

17:10－17:15 閉会の挨拶 安藤直子（世話人）

17:30－19:30 懇親会（福利厚生棟）